

# ほろかつ

No. 39

2021.8月号

南島原市地域包括支援センター広報紙

地域包括支援センターでは、コロナ禍でも、認知症の人や家族・地域の人が安心して暮らしていける地域を目指し、認知症サポーター養成講座を実施しています。職場・地域のグループ・学校などに伺い、認知症に関する知識や対応について一緒に学んでいます。今年は、感染対策を行いながら学ぶことができるよう、(株)ミナサポにご協力いただきオンラインでの講座も実施しています。

笑顔が素敵な輝いているお2人をご紹介します。前向きに楽しみながら、新しいことに挑戦したり、日々できることをやり続けながら生活されています。

はぎはら つねよし

## [有家町] 萩原 経義 様(95歳)



- 【前職】 教員・校長先生
- 【好きな食べもの】 家族の手作りおかず、肉・魚。
- 【マイブーム】 ミシン。裁縫。
- 【今までに夢中になったこと】 写字。辞典を読む。畑。縫物。
- 【大切にしていること】 細かいことは気にせず、楽しく。
- 【大切な思い出】 妻と過ごした約70年間すべて。旅行先。
- 【目標】 ひ孫に贈る洋服をミシンで作りたい。

まつお うしお

## [口之津町] 松尾 丑男 様(95歳)

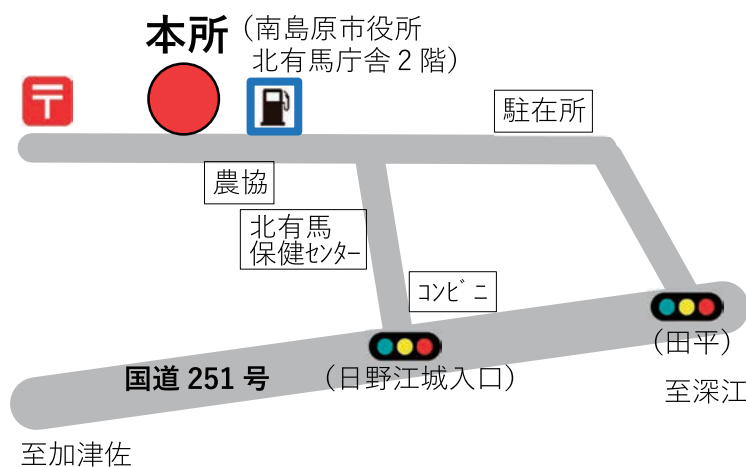


- 【前職】 船員
- 【好きな食べもの】 肉。何でも好き。
- 【マイブーム】 家で昭和の歌を特集する番組を見ること。
- 【最近嬉しかったこと】 圧迫骨折入院後、リハビリにてまた歩けるようになったこと。
- 【大切にしていること】 辛抱強く。忍耐を忘れない。
- 【大切な思い出】 今が一番幸せ。

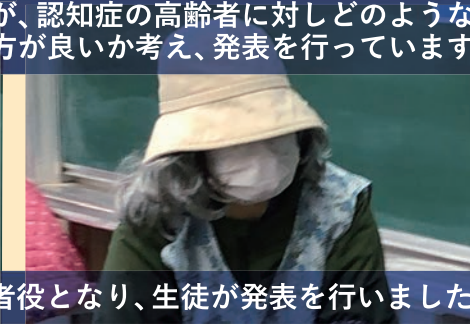
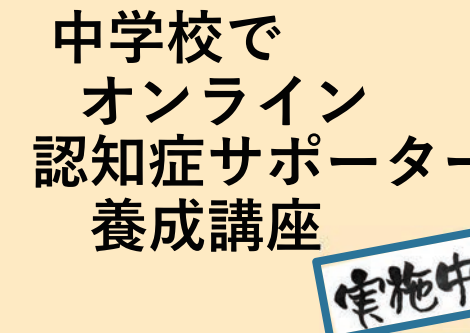
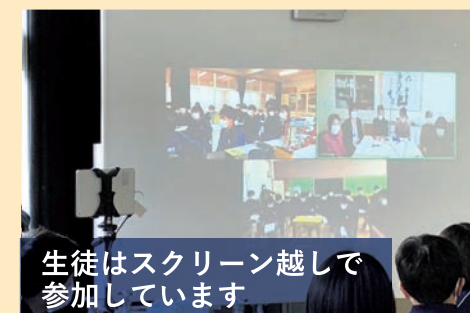
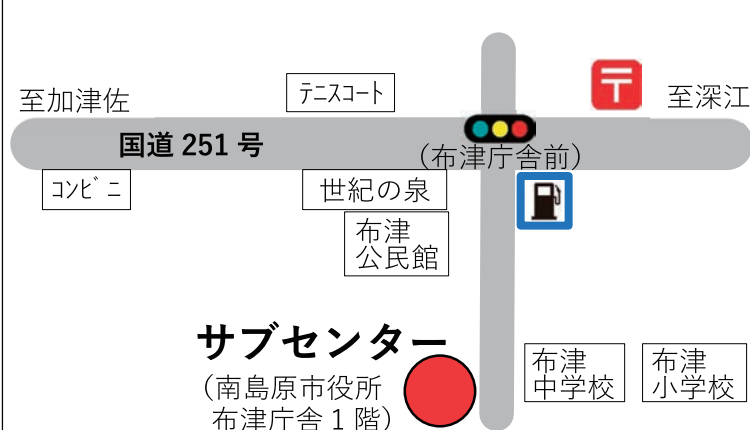


### 地域包括支援センターの連絡先

●本所(北有馬) ☎ 84-2633  
【開所時間】 8:45~17:30  
月曜~金曜(祝日と年末年始を除く)



●サブセンター(布津) ☎ 61-1190  
【開所時間】 8:30~17:15  
月曜~金曜(祝日と年末年始を除く)

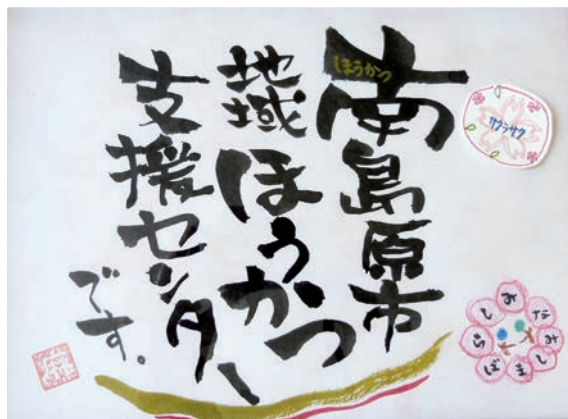


生徒からの感想  
「認知症などの病気をもって困っている人がいたら手助けしたい。」  
「祖父、祖母との会話を大切にしたい。」  
「もっと認知症のことについて学びたい。」 など

認知症サポーター養成講座は、おおむね5名以上参加があれば、どなたでも受講できます。  
【お問い合わせ先】  
地域包括支援センター ☎ 84-2633

ミナサポ 南島原市が出資する地域商社です。オンライン会議やオンライン研修会でお困り事がございましたら、お気軽にお問い合わせください。  
住所: 西有家町長野 1776 (旧長野小学校)  
電話: 61-1212 営業時間: 平日 9~17時





# 高齢者の皆様の 相談や困りごとは… お気軽にご相談ください！

どのように相談したらいいの？

まずは、電話で相談

内容に応じて、ご自宅にもお伺いします



来所での相談も可能です



感染予防のため  
透明ボードを設置

地域包括支援センター本所は北有馬庁舎2階にあります。1階にある呼び出しボタンを押していただくと、職員が参ります。



【撮影協力】  
口之津町  
酒井丑次様  
スミ子様

※ 地域包括支援センターの  
連絡先・地図等は、  
最終ページに記載しています。

南島原市地域包括支援センターは地域の高齢者の方のためのよろず相談所です。高齢者の方の生活上の困りごとに総合的に対応します。  
(介護・福祉・医療の専門職がおります)  
『困っているけど、どこにどんな相談をしたらいいのかわからない』  
『ちょっとした事だけど、心配になっている』  
『以前の様子となんだか違う』 などなど…  
わからないことや悩み事、ちょっとした気づきなど、  
高齢者ご本人をはじめ、ご家族や地域の方までお気軽にご活用下さい！



## ～電話相談内容の例～

高齢者本人さん

Q  
A

足の動きが悪くなり、自宅でお風呂に入ることが難しくなってねえ。介護を受けたいけれど、手続きや制度、どんなことをしてもらえるのか、よくわからんとです、どがんしたらよかんとですか？  
今困っておられることを詳しくお伺いして、どんな手続きをしたらいいか…どんなサービスを受けることができるかなど、ご都合に合わせてお電話・来所・訪問にてわかりやすくご説明します。

Q  
A  
コロナで実家になかなか自由に帰れません。電話での様子では物忘れが目立って、最近母の様子が前と違うような気がして…運転も危ないらしいと親戚からも聞いて。こんなこと、どこに何を相談していいかわからなくて。  
訪問を行うなどして、ご本人のお気持ちやご様子をおたずねしたうえで、状況に応じて医療機関や介護・福祉サービス、その他関係機関等と連携をはかります。ご本人らしく、安全に生活できる方法を一緒に考えていきます。



高齢の母が心配な娘さん

Q  
A  
仕事しなければ、生活が苦しい状況で、父の介護もしなくてはならず、負担になってストレスです。  
介護する人が心身共に疲れきってストレスや心配事がたまると、介護する人・される人、双方が本来の生活を送ることが難しくなります。相談内容に応じた専門職が対応いたします。一緒に考えていきましょう。



親の介護と仕事の両立で悩んでいる人

近隣住民さん

Q  
A

最近隣の家からよく怒鳴り声が聞こえるとですよ。本心といえば、本当はあまりかわりたくはなくて。ただ見過ごすことも出来なくて。心配とよ。  
お電話くださった方が特定されることがないように、対応していきます。